

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調査書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かわせみざ	団体ウェブサイトURL	
	かわせみ座	http://www.kawasemiza.com	
代表者職・氏名	山本由也		
制作団体所在地	〒 191-0024	最寄り駅(バス停)	高幡不動駅
	東京都日野市万願寺5-12-1		
電話番号	042-511-4092		
ふりがな 公演団体名	かわせみざ	団体ウェブサイトURL	
	かわせみ座	http://www.kawasemiza.com	
代表者職・氏名	代表 山本由也		
公演団体所在地	〒 191-0024	最寄り駅(バス停)	高幡不動駅
	東京都日野市万願寺5-12-1		
制作団体 設立年月	1982年10月		
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	山本由也(代表・人形美術・人形操作) 原きよ(制作・俳優) 三橋和美(会計・経理)	構成員...役員3名及び劇団員7名の10名 主な俳優氏名...山本由也、原きよ、三橋和美、竹内修、速名美佐子 加入条件...代表を山本由也と定め、原きよを副代表とする。 新入組織員は、代表及び副代表の合議により決定する。	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者 を置く	本事業担当者名	原きよ
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	三橋和美
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	information@kawasemiza.com		

<p>制作団体沿革</p>	<p>1975～1982 代表の山本はプロの劇団を経て、竹田人形座(東京都無形文化財)へ入団。竹田扇之助氏、竹田喜之助両氏に師事する。</p> <p>1982.10 代表の山本が独立し、「かわせみ座」を創立。独自の劇人形を駆使して活動を始める。ジャンルの違うアーティストと共演するなど、人形を遣った新たな舞台芸術を発表し続けている。</p> <p>1987～ 脚本・演出家の吉永淳一先生のご指導のもと、芸術的創作活動に励む。</p> <p>1999～ スタジオジブリの高畑勲氏に演出を依頼した「まほろばのこだま」を制作。国内外で公演。平成25年度～令和3年度に文化芸術による子ども育成推進事業で「まほろばのこだま」を公演。</p> <p>2013～ 音楽家をゲストに即興性の高いライブ「SessionYoshiya」を開始。</p> <p>2020.12 山本が45年間に手掛けた人形の作品集「GREAT MARIONETTE」(カラー200頁)を出版。</p> <p>2023.3 本拠地を杉並区成田西1-4-17から日野市万願寺5-12-1へ移動。 (山本の住民票を別紙添付)</p>				
<p>学校等における公演実績</p>	<p>年間、約10～20公演を小・中学校を対象におこなっている。</p> <p>また海外では1996年スペイン、1999年と2001年にはアメリカ、2002年モロッコ、2003年韓国、2008年メキシコ・セルヴァンティノ、レオン、メキシコシティ、2015年リトアニアとエストニア、2013年と2016年にはアメリカ・ナッシュビルにて小・中学生を対象として「ことばのないおもちゃ箱(Silent Poems)」公演をおこなった。</p> <p>「まほろばのこだま(Where Spirits and Fairies Poems)」は2005年にイタリアと英国、2007年に香港で公演をおこなった。</p> <p>2012年5月には、中国の成都、南充にて「ことばのないおもちゃ箱(Silent Poems)」公演をおこない、ウニマ・第21回世界人形劇フェスティバルにて優秀作品賞を受賞。</p> <p>その他、年間2～3回の自主公演活動をおこなっている。</p>				
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>平成17年度～21年度に次代を担う子どもの文化芸術体験事業で「ことばのないおもちゃ箱(Silent Poems)」小・中学校を対象として上演。平成25年度～令和3年度に文化芸術による子ども育成推進事業で「まほろばのこだま」を小・中学校を対象に上演。これまで約10校の特別支援学校での公演及びワークショップを実施。ワークショップも普通学級と同等の内容のものを、優しくかみくだいて実施し、好評を得ている。</p> <p>ツアーの中で特別支援学校でのワークショップを実施している。</p>				
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>			
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://www.youtube.com/watch?v=rvlW3rIRXaE</p>			
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="906 1796 975 1827">ID:</td> <td data-bbox="978 1796 1378 1827"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="906 1832 975 1863">PW:</td> <td data-bbox="978 1832 1378 1863"></td> </tr> </table>	ID:		PW:
ID:					
PW:					

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 **かわせみ座**】

対象	小学生(低学年)	○	/
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	表現力豊かなマリオネットと生演奏と語りが織りなす、優れた本物の舞台表現をどうぞ		
本公演演目	<p>「SessionYoshiya・語り」 出演…山本由也・原きよ・海沼正利・上野山英里 作・原案／かわせみ座 構成・演出／山本由也 舞台美術／白沢吉利 人形美術／山本由也 …</p> <p>「鳥天狗と里山の精霊まんまんもー」 出演…生徒の皆さん・山本由也・原きよ・海沼正利・上野山英里 作／かわせみ座 構成・演出／山本由也 舞台美術／白沢吉利 作曲／海沼正利・上野山英里 …</p> <p>「人形と楽器の解説」 出演…山本由也・原きよ・海沼正利・上野山英里</p>		
原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>公演時間 90 分</p>		
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況
演目概要	<p>本公演は、美しい日本語の語り(昭和の詩人の詩、散文詩、言葉遊び)、ナチュラルな生演奏、かわせみ座独自の人形表現が融合した舞台芸術です。舞台上に10数体の人形をディスプレイ。山本は音楽や語りのアプローチで人形を遣い始める。物だった人形が動き出す瞬間。音楽に、語りに触発されて生き生きと舞台上で演じる人形の躍動… 操演を終え人形遣いの手を離れると物に戻る人形。その静と動の気配のONとOFF… 変幻自在な生演奏や美しい日本語の語りは子ども達の感性と情操力を触発するに違いない。日本語で語られる言葉遊びや物語に登場する生きものたち…</p> <p>・2022年10月 AFF2の支援を受けて公演。 ・2023年8月いいだ人形劇フェスタでホール公演を実施。</p>		
演目選択理由	<p>「SessionYoshiya・語り」は、2013年から毎年開催している多ジャンルの音楽家とのSession公演を経て、2022年に語り(俳優、声優)を交え言葉、物語と詩をプラスした 作品です。現代日本人の意識から薄れている、日本語の美しさを再認識できる舞台です。五感に響くアコースティックな生演奏とユニークな人形表現と語りから生み出される舞台は、イマジネーションと感性をくすぐります。言葉・人形・音楽が織りなすSessionを通して、人の在り方フィロソフィーをナチュラルに再考することができるこの舞台は、子ども達の情操教育として大変意義が有ると考えています。</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>小学校…高学年の生徒が適しています。中学校…どの学年でも可。生徒とかわせみ座の出演者(人形)のワークショップを経て、本公演の後に小作品(約15分)を発表公演をします。</p> <p>予定参加人数: クラス・学年単位、10～50名程度(これ以上の人数の参加をご希望の場合はご相談ください。)</p> <p>人形、小道具、身体表現を媒体として演じ、日本の伝統的な所作を踏まえた、美しい詩のような小品を上演します。舞台空間で共にひとつの作品を創造する、体験することの素晴らしさを伝えます。</p> <p>また公演終了後15分程度、人形操作や楽器の解説、生徒さんの質問にお答えする交流会(アフタートーク)をおこないます。</p>		
出演者	<p>山本由也(マリオネットアーティスト) 原きよ(語り、朗読家、役者) 海沼正利(音楽家、パーカッション、カヌーン、スチールパン) 上野山英里(音楽家、ピアノ、キーボード、フルート)</p>		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	<p>出演者: 4 名</p> <p>スタッフ: 6 名</p> <p>合計: 10 名</p>	運搬	<p>積載量: 2 t</p> <p>車長: 6.3 m</p> <p>台数: 2 台</p>

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～13時30分	13時30分～15時	0分	15時～17時	17時頃

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。

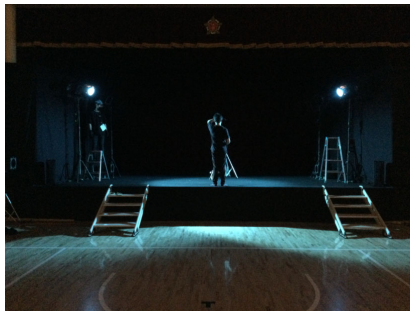
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月
	24日～うち平日5日間	2日～うち平日21日間			
	11月	12月	1月	計75日間	#VALUE!
1日～うち平日20日間	2日～うち平日15日間	14日～うち平日14日間			

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	10～50人程度(これ以上の人数の参加を)
		鑑賞人数目安	50～500人程度



(写真1・2)基本として体育館の舞台を使用。各学校の舞台スペースに合わせて設営。バックを黒幕でおおい、サイドに袖を設置。舞台床面に黒パンチを敷く。



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)



(写真3)セッティング例
下手側にベンチ(道具)と楽器をセット。舞台奥と上手に人形をディスプレイ。

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



(写真4)公演舞台写真。
語り...原きよと人形

【公演団体名 かわせみ座】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	10～50人程度(生徒数が多くなる場合は要相談。)
<p style="text-align: center;">ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>～人形やオブジェ、小道具を使って、子ども達と共に舞台を遊ぶ～ 「烏天狗と里山の精霊まんまんもー」(約15分の小作品)</p> <p>ある日、里山の森の精霊まんまんもーは山頂の森に暮らす烏天狗に会いに行く。 森の木々のざわめき、そよぐ風、息づくものたちの気配… 山頂では烏天狗たちが迎えてくれる。烏天狗(生徒達)と共に遊ぶまんまんもー。 しばらく遊んでいると、日暮れに気付いた烏天狗たちが鳴き出す。皆とさよならの挨拶をして帰るまんまんもー。木々の合間をくぐり抜け里山へ帰り着いたまんまんもーは眠りにつく。</p> <p style="text-align: right;">事</p> <p>前にかわせみ座の出演者と共に、ワークショップで小作品の稽古をする。本公演の後に上演発表します。ワークショップの中で身体や物を使い、森や気配、木立や烏天狗を演じる。生徒たちには想像力を膨らませる事で表現を楽しむ感性を育む体験をしてもらいたい。 人形と共に物語を演じる事は不思議な経験です。季節に自然に生き物に優しく思いをはせる感性の大切さに気付いてほしい作品です。</p> <p>公演当日にも約1時間(10:30頃～11:30頃)、本番と同じ照明と音響の中でリハーサル(ゲネプロ)をおこないます。</p>		
<p style="text-align: center;">ワークショップの ねらい</p>	<p>ヨーロッパの学校教育では「演劇および表現」を取り入れた教科があります。子供達は言葉をつかったり、言葉を使わずにコミュニケーションを取る表現手段を学習します。その表現の延長上に演劇が有り、生きる上でも、表現力を培うことが重要であると実感できる授業です。</p> <p>今回のワークショップでは、生徒達が烏天狗役で声を発声したり演じる以外に自身の体と道具を使って木々や森の気配などを表現します。本番に向け劇団員と協力し合い創り上げていきます。生徒達はワークショップの中で作品に対するイメージを高め、本格的な舞台表現を経験します。</p> <p>このワークショップは感性、想像力、表現力、努力、協力など多くの事を培う事のできる、格好の情操教育と位置づけております。部分的な参加ではなく、作品全編に渡り生徒と劇団員が共に一つの作品を完成させます。生徒はその過程と上演を経験することで、生の舞台芸術を丸ごと体験する事が出来ます。エキストラではなく、自分が使う烏天狗面を作ることから始め、自作したお面を使って共演する事への喜びが、生徒達の前向きな意欲につながります。</p>		
<p style="text-align: center;">その他ワークショップに 関する特記事項等</p>			

本事業への申請理由

【公演団体名

かわせみ座

】

①本事業に対する取り組み姿勢

「SessionYoshiya・語り」は2013年から続けて開催しているかわせみ座独自のSessionです。約10年にわたり、多ジャンルの音楽家と語りとマリオネット操演のユニークな舞台を多くの観客の方々にご覧頂いています。

自作の人形表現から生み出される舞台表現はイメージーションと感性をくすぐり、目には見えない気配を五感で感じて想像させます。日本語の美しい詩や言葉をモチーフに描いたこの舞台は、子ども達の情操教育として大変意義のある作品です。

日本のアニミズムには、生き物たちや自然環境への想像力と共生の思想があります。

近年、子ども達の苛めやコミュニケーション能力の低下が社会問題となっていますが、解決への糸口として重要なのは、自分とは異なる「他者の存在への受容」と、「他者への想像力、思いやる気持ち」だと考えます。

ますます生の舞台芸術鑑賞の機会が減少している昨今、確かなキャリアを持つ出演者による本物の舞台芸術を肌で感じていただきたい。

さらに、ワークショップで小品に参加、経験することは、子ども達自身の表現の可能性が広がる事につながります。豊かで健康な心を育み、次代への展望をもつきっかけとなる機会にしたいと考えています。

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

学校へ事前に台本を送付して、ワークショップまでに生徒さんに台本へ眼を通してもらい、当日に指導者と生徒がコミュニケーションを取りやすいようにします。

ワークショップを実施することで、物語を想像すること、演じること、音楽に合わせること、体や物を使って表現すること、お互いの動きを理解して協調すること、個々のパートで役を演じ表現すること等々、一つの作品に向けて多くの演劇的要素を体験します。情操教育的観点から言っても、多角的に舞台芸術を体験することが出来ます。ただ観るだけの観客ではなく、演じ手としての感性と想像力を持った観客としてより本公演を深く楽しめるようになります。

学校のご担当者との打合せは、劇団側で打合せ表を作成し、事前ワークショップの時にお渡しして綿密に打合せをさせていただきます。体育館を使用するにあたりいくつかのお願いをさせていただきますと同時に、学校側のご要望にも紳士に対応させていただきます。

電話、メール、FAX、ショートメールなどの様々な方法で、先生のご都合に合わせて連絡が取りやすいようにしています。さらに劇団の担当者の携帯電話をお伝えし、どんな小さな疑問でもすぐに御連絡いただけるような体制をとっております。ワークショップの本番のイメージ

が沸きにくい、というご意見をいただいたことがありますので、過去のワークショップの本番映像をDVD-Rに焼いて事前にお渡ししております。生徒に見せるかどうかは、先生のご判断にお任せしています。夏に事前ワークショップを実施する場合は、扇風機をご用意

いただいたり、水分補給をこまめにおこなうように心がけております。本公演の際は、窓や扉を開けて本番をおこなったり、体育館に各自水筒を持参するようお願いしたり、人形解説の時間を短縮したりと、生徒達の体調を第一に考えて、先生方と相談しながら毎回工夫しております。

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫

